



でんわき 電話機はどうやって作るの

そうわきじゆわき 送話器と受話器

でんわき 電話機は、^{こえ}声のふるえを^{でんきしんごう}電気信号に変えて^{おく}送り、^{おく}送られてきた^{でんきしんごう}電気信号を、^{ふたたび}再び^{こえ}声の^{しんごう}信号

に^か変える^{きかい}機械です。
^{こえ}声を送る^{そうわき}送話器には、^{こえ}声のふるえを感じる、^{しんどうばん}振動板(うすい鉄板)と、^{たんそ}炭素の^{はい}つぶが入っ
 ています。^{こえ}声の^{おお}大きさによって、^{しんどうばん}振動板のふるえが^か変わります。それが、^{たんそ}炭素の^{はい}つぶをおし
 て、^{でんりゅう}電流の^{りょう}量を変え、^{でんきしんごう}電気信号に^か変わります。声^{こえ}を^き聞く^{じゆわき}受話器には、^{でんじしゃく}電磁石があつて、^{つた}伝
 わってきた^{でんりゅう}電流の^{つよ}強さによって、^{じしゃく}磁石の^{つよ}強さが^か変わります。すると、^{しんどうばん}振動板が^{ふるえ}ふるえ、^{でんりゅう}電流
 が^{ふたたび}再び^{おと}音に^か変わって、^{はなし}話を^き聞くことができます。

いろいろのぶひんを組み合わせて作る

でんわき 電話機には、^{しき}ダイヤル式と^{しき}プッシュホン式がありますが、^{さいきん}最近では、^{しき}プッシュホン式のも
 のが、^{おほ}多くなっています。^{おほ}ダイヤルや^{すうじ}プッシュボタンは、その^{すうじ}数字を、^{でんき}電気の^{しんごう}信号に変えて
^{おく}送るための、^{きかい}機械につながつていて、^{あいて}相手の^{ばんごう}番号を^{まわ}回すと、それが^{こうかんき}交換機につながつて、^{あいて}相手
 の^{ばんごう}番号を、^よ呼び出す^だしくみになっています。

でんわき 電話機は、^{そうわき}送話器や^{じゆわき}受話器、^{ダイヤル}ダイヤルや^{プッシュボタン}プッシュボタン、^{でんわ}電話がきたことを^し知らせるベル
 など、^たたくさんの^{ぶひん}部品を組み合わせて、^{こうじょう}工場で^{つく}作られています。(監修・青木 国夫)

